

【様式1】

団体名 公私連携認定こども園はなかが福祉会 光洋こども園	連絡先 TEL : 098-992-1888 Eメール : koyokodomo@yahoo.co.jp
--	---

1 実践事項 (①「幼・小・地域・関係団体との連携」)

「校区(地域)の子どもたちのより良い育ちを目指して」

2 実践内容

- (1) コロナ禍のため、安全を考慮し子ども同士の交流は行わず、光洋校区各園の「10の姿」に向かう活動をZOOMにて発表し合い互いに学びを深めていった。
- (2) 光洋小学校校区の5か園の保育者が光洋小学校へ集い、新一年生の様子を映像で知り、その後校長先生より「光洋小学校グランドデザイン」を学んだ。
- (3) 保育者が共に地域の園児が向かう小学校を知り、学び、思いをひとつにし校区の接続期カリキュラム作成へ生かしていく。

3 説明資料 (光洋校区での話し合い)



素敵なお案内ボード



校長先生 講話



校長先生の総評・質問タイム

4 成果

- (1) 校区保育施設のZOOMによる交流研修では各園の様々な教育・保育を知り、共感したり自園でも取り入れてみたい!など質の向上へ繋がる内容となっていた。
- (2) 5歳児担任より「就学前の子どもたちの言葉かけで迷う部分もあったが、小学校を知る事で確信を得ることができた。」と安心と期待感を持つことができたようであった。
- (3) 交流研修での各園の教育・保育の様子を校長先生へ報告し総評を頂いた。とても嬉しい保育者への励ましの言葉となっていた。
- (4) 校区の保育者が集い、学び合うことで同僚性が高まり、次年度からの子ども同士の交流がより充実した内容になるイメージが持てた。

5 課題

- ・コロナ禍の状況を見ながら子どもたち同士の交流、小学校体験をどのように進めていけるのか創意工夫が必要である。